

## 第 27 回卒後研修セミナー 後記

奥羽大学歯学部同窓会卒後研修セミナー東京開催

「禁断の扉が今、開かれる～見える顎位と顎機能の真実～」

奥羽大学歯学部同窓会広報部副部長

奥羽大学成長発育歯学講座歯科矯正学分野 竜 立雄 (20 期卒)

令和の新年号が施行された 2019 年 10 月 22 日 (日) に第 27 回奥羽大学歯学部同窓会卒後研修セミナーが虎ノ門ヒルズフォーラム (東京都港区) で行われました。

今回は、日本歯科大学名誉教授・日本歯科大学附属病院顎関節症診療センター初代センター長の丸茂義二先生をお招きして「禁断の扉が今、開かれる～見える顎位と顎機能の真実～」という衝撃的な演題でご講演をいただきました。

丸茂先生は当研修セミナーに今回 3 度目のご登壇で、私は 2010 年 4 月 18 日 (日) に同窓会創立 30 周年記念学術講演会として六本木アカデミーヒルズで開催された第 1 弾「咬合」を語る「臨床と咬合の Total Solution」のご講演を初めて拝聴し感銘したことを覚えている。第 2 弾は、2016 年 2 月 14 日 (日) に「日本人の咬合を語る-民族、骨格、生活習慣、食習慣から読み解く日本人のための咬合論-」と題してご講演され、日本人の歯列弓形状を研究していた矯正歯科医であった私にとって強烈な学びとなり鮮烈な記憶として刻まれた。

そして今回の第 3 弾のご講演は、見える顎位と顎機能に関して以下に示す 11 項目について詳細に解説された。1.食生活と身体の退化より学ぶ、2.身体の劣化は口腔内で評価、3.欧米化は退化という意味、4.見える顎機能、5.発育における顎機能、6.最後退位の悪夢、7.咀嚼運動とは、8.顎頭位と顎機能の発育、9.最後退位が無理な理由、10.顎機能判定、11.もし成人で直筋 off なら。いずれの項目も丸茂先生先生の多くの臨床経験と歯科の領域を超えた多大な全体的知見と時代の変化に基づき、導き出された咬合・咀嚼・姿勢・呼吸・舌機能が統合した顎機能理論と改めて認識した次第である。研鑽した学びを患者利益にフィードバックできるかが今後の鍵と考えられ、次の歯科医療の進化につながる有意義なご講演であった。

また、本セミナーには本学同窓の先生方だけでなく他大学ご出身の先生方も大勢参加され、会場は満席に埋め尽くされ、盛会のうちに終了した。丸茂先生のご講演がセンセーショナルで興味深い内容であった証と思います。

私見を述べさせていただきましたが、おわりに歴史的に貴重なご講演していただいた丸茂義二名誉教授、本セミナー開催にご尽力された学術委員長 大河雅之先生、副会長 原元信貴先生をはじめとする学術部の先生方、本セミナーをコーディネートされた難波郁雄先生、執筆の機会を与えていただきました河野慶吾先生に感謝の意を表します。